



晃陽

第7号

～生徒が安心して力を発揮できる学校～

<目指す生徒像>

- たしかな学力をもつ生徒
- 豊かな心をもつ生徒
- 強い体力・気力をもつ生徒

晃陽は
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

学校だより 令和元年 11 月 12 日

宇都宮市立晃陽中学校長 大島 誠

創立50周年記念式典・文化祭

10月26日（土）晃陽中学校創立50周年記念式典・文化祭が盛大に開催されました。記念式典には多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、佐藤市長からは「人間力を高めるためには我慢が大切」という話がありました。無事に記念式典を終了することができましたのも、廣田実行委員長をはじめとするPTAの皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。式典後の記念のお囃子は、吹奏楽部と地域の伊藤伸吾様の指導を受けたお囃子のコラボレーションで、素晴らしい演奏を披露することができました。

午前11時から、令和元年度文化祭がスタートしました。体育館ステージには、3年生の永岡にこさんが考えてくれたシンボルマーク、「転機」が美術部の皆さんの制作により大きく飾られました。開会式の後、クラス一丸となって朝・昼休み・放課後と練習してきた「合唱コンクール」、そして英語スピーチなど生徒発表が続きました。給食をはさんで、長い間練習を重ねてきた「吹奏楽部演奏」、工夫を凝らした6つのグループの「ステージ発表」、そして閉会式では、合唱コンクールの入賞クラスの発表、実行委員長のすばらしいあいさつがありました。多くのPTA・地域の方々に最後まで鑑賞していただきました。ご支援していただきました、地域の皆様、保護者・PTAの皆様に感謝申し上げます。



市長あいさつ



感謝状贈呈



生徒会長挨拶



全校合唱



お囃子演奏



お囃子演奏



金賞2年2組



銀賞2年1組



銅賞3年2組



オープニング



吹奏楽部演奏



有志発表

市P連バレーボール

10月27日、市P連バレーボール大会が本校を会場にして開催されました。優勝候補の横川中と2回戦で対戦し、惜しくも負けてしまいました。相手の強いスパイクを粘り強く拾い、励まし合っている姿にチームワークの良さを感じました。選手の皆さん、応援してくれた皆さん、ありがとうございました。



生徒会新役員任命

11月5日の生徒朝会において、生徒会の新役員・新専門委員長が次のように任命されました。これからは、2年生が中心となって晃陽中学校の生徒会を動かしていきます。全校生徒のご協力、よろしくお願いします。

・会 長 石岡直樹
 ・副会長 井上カンナ 村田月華
 ・書 記 和泉奏音 岡本さゆり
 高橋真ノ介
 ・会 計 長利希怜 駒田有咲
 金田和奈 篠崎千咲

・図書学芸委員長 小池陽葵
 ・保健体育委員長 二階堂叶夢
 ・給食委員長 鈴木和翔
 ・美化緑化委員長 古堀愛結
 ・広報委員長 福田真央



篠井地区文化祭・とみやふるさとまつり



11月3日(日)篠井地区・富屋地区の文化祭が盛大に行われました。吹奏楽部が堂々と演奏し、お祭りを盛り上げてくれました。また、準備ボランティアに協力し会場づくりに協力した生徒もいました。展示コーナーでは、美術の授業での作品や書道作品なども展示されました。

「苦しい経験は無駄にならない」 PHP10月号

桂 紹寿【京都 華厳寺(鈴虫寺)住職】

誰でも、辛いことや不条理なことはできるだけ避けて通りたいと考えるでしょう。けれど、私は、むしろ経験したほうがいいと思うのです。もちろん、心身を病むまで我慢する必要はありません。そんな時は逃げましょう。

でも、ある程度の辛さや不条理を経験すると、何気ない日常のありがたさや見過ごしていた風景の美しさに気づくことがあります。私は苦しみの極致にあったとき、小さな子の恥ずかしそうな笑顔と「おぼんさん、こんちは」というかわいい挨拶に救われました。近くに引っ越してきた二歳の女の子でした。

見返りを求めない笑顔に、思わず自分も笑顔になり、「にこやかな笑顔と優しい言葉で人に接しなさい」という禅の教え、「和顔愛語」とはこのことかと、大いに慰められました。

私が住職を務める華厳寺には、多くの方が願い事をしに来られます。もちろん、すべての人の願いがかなうわけではありません。しかし「結果的に叶わなかったけれど、いろいろなことを考えるいい機会になりました」「あのとき、一生懸命だったことは無駄ではなかったと思えます」とお礼に来られる方がけっこうおられます。

大切なのは、自分に都合のよいことや悪いことにとらわれず、物事のあるがままを素直に受け入れることです。そのとき、苦しみから解放され、真の安らぎを得られるのだと思います。

